

岡山県地域包括ケアシステム学会学術大会への参加

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度の要介護状態となっても住みやすい地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を厚生労働省は打ち出しています。

岡山県においても様々な事業が行われているところですが、これらは各事業所の代表者に及ぼす影響力は強いものの、実際に医療福祉の現場で働いている介護職員やリハビリテーション専門職、介護支援専門員（ケアマネジャー）等のすべてに情報が行き渡るには相当な時間が必要です。そこで、医療福祉の現場で働く人々の抱えている問題点や成功例を共有できる場が提供されることが急務との考えのもと、「岡山県地域包括ケアシステム学会」が平成28年に設立されました。

通常の医学会とは異なり、先進的な知識や経験を発表することが主目的ではなく、高齢者や障がい者等のケアに関する日常的な問題、小児期からの健康の増進と疾病・障がいの重症化予防、健常者や地域住民を含む街づくりと連携の在り方等について、多職種間で討議し合うことで医療福祉サービスの向上に寄与することを目的としています。



この大会の中で一般口演・ポスター発表の場も設けられており、鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会では、第1回から毎回様々なテーマで発表を行っています。今年度は広報かがみの5月号で紹介した「しゃべくりグループ18：30 in鏡野」の取り組みを発表しました。

鏡野町内の医療、介護、社会福祉施設に所属する医師、看護師、介護士、リハビリテーション職、ケアマネジャー等に参加を呼びかけて多職種が交流することで、働く場所や職種の垣根を越えて顔の見える関係を作ることの良い関係を築けていること、この取り組みが鏡野町の地域包括ケアシステムの発展につながることを期待していること等を述べました。

地域包括ケアシステムの仕組みを築くために、今後もこうした活動を通して医療、介護、福祉の連携を強化していきたいと考えています。

■お問い合わせ先

鏡野町保健福祉課 介護保険係 担当：和田 電話(0868)54-2986 FAX(0868)54-2891